

しおんだより VOL.45



患者さんやご家族向けの談話室を改装しました

当院が現在の運営形態になって10年近くが経過しました。その中で、課題として取り組んで来たのが、ハード面の充実です。

今まで大きく、3つのフェーズでの院内設備の改装を行ってきました。1つは、病院内のハードのリフォームです。もともとは結構古風な(?)まさに、昭和の病院という感じでしたが、壁紙を貼り替えたり、ベッドを入れ替えたりしながら、年季は入っているけど手入れの行き届いた病院らしい清潔な空間を外来でも病棟でも作りたくとも取り組んでいます。もう1つは、水回りの改装です。外来、病棟のトイレなど、便器の入れ替え、レイアウトの変更など、気持ち良く快適にご使用いただけるように改装をして参りました。3つめの、スタッフ向けの休憩室の改装です。お昼休みや夜勤の休憩時にしっかりリフレッシュできることは、患者さんへのサービスを行うためには非常に重要なので、内装や家具の入れ替え、充実などを行ってきました。

今回は、ご面会にお越し頂くご家族様やご入院中で少し気分転換されたい方などが、ゆっくりお過ごし頂けるように当院の食堂・談話室を改装したものです。オレンジと少し明るいベージュやブラウンの椅子やソファと、ちょっとシックな木目のデスクが、ゆったりとした間隔で設置されています。5階でエレベーターを出て直ぐ左手にあります。是非、機会があれば、ご利用頂きたいと思っております。

少し物品を整理し、家具を一新しました。また、70インチの大型テレビを設置。ご家族様とのお面会などにもご利用いただけます。

1年間の研修成果発表会が開かれました

これからの地域医療のキーワードは「ときどき入院、ほぼ在宅」と言われています。高齢者が多くなる我が国で、「住み慣れた地域で最期まで」という「地域包括ケアシステム」を実現するためには、基本的には在宅や介護施設で療養しながら、肺炎や転倒・骨折などがあれば、迅速に入院し治療。状態が落ち着けば、また、もとの自宅や施設に戻る…。そんなイメージがこれから重要になります。

高齢者の治療は、基本的に内科的な治療、つまり、薬を飲むということになります。年と共に沢山の薬を飲むようになってきたり、医師の指示通りに薬が飲めなかったり、色々な不具合が発生しますし、それらによって体調に良くない影響が及ぶことも少なくありません。

そうすると、在宅で担当していた薬局薬剤師と、病院で担当していた病院薬剤師との連携（いわゆる薬薬連携）が重要になってきます。それらを踏まえて、当院では、薬局薬剤師の1年間の病院研修を3年ほど前から行っています。今回も、4人目の研修が終わりその成果発表会がありました。色々なことを学んで頂けたようです。また、薬局に戻れますが、病院での研修成果を活かして、是非、ご活躍いただければと思います。



1年間の病院研修で学んだことを、沢山の写真も交えて振り返りつつ、その成果を発表していただきました。

今年も朝顔の花が咲く季節がやってきました。

気がつくとも7月も半ばを過ぎ、後半に突入しました。今年は梅雨入りが遅かったのですが、雨が一気に降ることも多く、警報も何度か出しています。洪水や土砂災害などが起こらないことを祈るばかりです。

そして、梅雨が明ければいよいよ夏到来。若かった時ほどではありませんが、やはり晴れ渡った空、明るい太陽を目にすると、わくわくしてきます。週末の朝は、家の周りをランニングすることが多いのですが、もう7-8年続けていると、だいたいこのあたりではこの花が咲く頃だなということを感じるようになってきます。

その中でも真っ先に覚えたのが、川沿いの道ばたに咲く薄紫色の朝顔です。夏が来たなと実感する花が、一斉に咲き出す季節がやってくると、やっぱり少しわくわくしますね！（文責：狭間研至）



今年も、朝顔の花が咲く季節がやってきました。よく考えると時期が来ると咲くのも不思議です。

しおんだより 第45号 発行日：令和6年7月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: www.shion-hp.or.jp